

農業観光プロジェクト

- 【現状と課題】
- 1 農業センターのリニューアルに向けた検討を開始した→施策①
 - 2 洋ラン、ふき、みかんなどの主要作物の作付面積、出荷量が減少傾向→施策②
 - 3 余暇的な農業需要（農業体験等）へのサービスが不足→施策③
トマトの鑑賞温室（90 ㎡）を整備し、1 万個のトマトの着果を目指した試験栽培を開始→施策③
 - 4 特産品を活かした商品、お土産品などが少ない→施策④
 - 5 情報発信力が弱い→施策⑤
 - 6 市民への周知があまりされていない→施策⑥

- 【後期目標】 東海市観光ビジョン 重点プロジェクト推進計画
- ・「洋ラン」や「みかん」などの本市の農産物の産地強化・ブランド化を推進する
 - ・農業拠点施設である農業センターのリニューアル方針を検討し、新たな機能を追加する
 - ・収穫体験ができる農園等との連携を推進する

- 【期待される役割】
- 行政：建築物の長寿命化、農業センターのリニューアル整備
観光協会：農業者、飲食業者との連携、観光ルートの開発、情報発信
事業者：飲食業者等との連携、農業体験等の実施
市民：農業体験や地産地消イベント等への参加、情報発信

施策	手法	主な取り組み		担当
		R5	R6（予定）	
①農業センター等の整備	・農業分野に「観光」「健康」をキーワードにした新たな機能を取り入れるリニューアル内容の検討 ・民間活力を導入した事業手法の検討	農業センター リニューアルの検討 公園連携（大池公園）の検討	農業センター リニューアルの検討 公園連携（大池公園）の検討	行政
②農作物の産地強化 ブランド化の推進	・農作物の栽培技術に関する試験研究への支援 ・農作物のブランド化に向けた農業者団体への支援（愛知早生ふき、養父早生たまねぎ、夕焼け姫みかんなど）	かんきつ「夕焼け姫」の栽培調査研究	かんきつ「夕焼け姫」の栽培調査研究	行政 事業者
③農業体験等観光コンテンツの開発	・利用者ニーズや飲食業者等の採算性を検証する実証実験 ・生産者と連携した農業体験コンテンツの開発（イチゴ、ブルーベリー、イチジク、ブドウなど） ・収穫体験に向けた夕焼け姫みかん、トマトの栽培	トマト展示温室の活用 農業収穫体験の研究 （ミニトマト、イチジク、ブルーベリーなど）	トマト展示温室の活用 農業収穫体験の研究 （ミニトマト、イチジク、ブルーベリーなど）	行政 事業者
④地産地消の推進	・市内農作物を利用したマルシェ等の開催 ・生産者や飲食店などと連携した新商品の開発 ・農産物販売所の整備	市内農産物を生かしたマルシェ開催	市内農産物を生かしたマルシェ開催	行政 事業者
⑤情報発信の強化	・マーケティング調査等を活用した SNS での効果的な情報発信 ・市外での出張 PR（ホテル等）	トマトキッチンカーを活用した P R	トマトキッチンカーを活用した P R	行政 観光協会 事業者
⑥シビックプライドの醸成	・農業体験や地産地消イベント等の開催、情報発信	各種事業への参加及び情報発信等	各種事業への参加及び情報発信等	行政 観光協会 事業者